



第13弾

ありがたい姿 探検記



前回のおさらい

トピック
ウクライナ侵攻からみる
平和と公正 (SDGs 16)

- ・ 世界平和は生活を支えている (灯油や小麦の輸入等)
- ・ 外部のリスクに打撃を受けにくい まちづくり
- ・ 平和の大切さを学び、伝えていくことが大事

先月号は、時事ニュースのウクライナ侵攻から平和を見つめなおし、あらゆる課題が他人事ではなく、全て繋がっていることを知りました。今月からは、まちづくりには様々な背景・年代の視点を入れ込む、町民参加を推進するための審議会のひとつ、SDGs推進町民会議についてお話しします。



SDGs推進町民会議とは

SDGs推進町民会議とは、あらゆる立場の町民により構成されており、SDGs及び、「2030年における下川町のありがたい姿」達成のための計画の策定と実施、評価、改善を審議する組織です。町のありがたい姿の達成について町民の視点を入れ込み、よりよいまちづくりを実施していく中での大変重要な存在です。今年度からは新たな任期が始まり、10人の委員が選出されています。

今年度は節目の年

ありがたい姿や、総合計画が策定されてから4年が経とうとしており、4年周期の前期計画も最終年です。2023年から中期計画が始まるため、ありがたい姿の振り返りを行い、進捗を踏まえて中期計画に活かす節目の年です。また、今年度は町民の声を取り入れるための総合計画アンケート項目やありがたい姿の振り返りが、SDGs推進町民会議での大きな議題となります。



SDGs推進町民会議第一弾

今年度初めての会議が今月行われましたが、案件としては2つが議論され、次の意見がありました。

- 1 総合計画アンケート
調査対象は18歳以上を予定していますが、ありがたい姿やSDGsについて、小中高生の知識量や将来への姿勢を考慮し、意見を取り入れる方法を検討する必要があります。

- 2 ゼロカーボン推進
削減目標は2030年、2050年までで設定し、取組は5年ごとに見据えながら考えていきます。脱酸素(ゼロカーボン)のまちを目指すため、実行

計画を策定する予定です。会議では、計画策定に向けたスケジュールや本会議の役割についての確認がされました。また、町民に身近なゼロカーボンについてなど議論がされました。

その他にも、町民からありがたい姿の進捗を聞かれる機会が多くなり、より一層自信を持って答えられるよう議論を進めていくことや、会議自体の持続可能な運営方法についても議論しました。

今月は、町民参加でありたい姿を達成するSDGs推進町民会議について紹介しました。来月からはその進捗、ゼロカーボン推進の進捗についてお届けします。

お知らせ

「なんもだよ掲示板」は、コモレビから町民会館内、ばかりつこ側の壁に移転しました。パワーアップした掲示板をよろしくお願います。最近ではダンスが人気です！



充実版は公式noteへ